

べられないでいるけどどうすればよいか、といった内容のものが多くありました。どなたにも共通してお伝えしたのは、主治医に直談判するか、医者を変えるかどうかです。自分たちの意にそぐわないのであれば医療者を代えるしかないんです。

もちろん歯科も同じです。僕にも得意、不得意があります。難しい抜歯などはとても苦手ですが、入れ歯や噛み合わせの調整は比較的得意です。でも、歯科の広告や看板を見るとあたかもオールマイティーのようになっています。だとすれば、行って「これは違うな」



と思うたら病院や診療所を代えればいいことなんです。先日、ある方か

ら何十回も通院しているけど入れ歯が全然良くなかなかったという話を聞きました。そりゃあそうです。入れ歯が不得意の先生も多くいて、その人がいくら頑張っても結果は出ないんです。そう考えると、医者に見切りをつける方が賢い患者だと思いませんか？

高齢の方の中には「お世話になったお医者さんを代えたくない」という方がおられますが、誰が結果を出してくれる人なのかを見極めてほしいと思います。と言ったらうちの患者さんが激減したらどうしよう…

### 薬局に栄養士さん

皆さん、薬局といえば薬剤師さんですが、薬局に栄養士さんが増えてくるのはご存知ですか？もちろん新

宿の薬局もそうですが、全国的にも増えています。

実は薬局の役割が変わろうとしていて、単に薬を渡すところではなく、地域の健康に寄与する目的ができており、その中で栄養士さんがいる薬局も増えてきているのです。ただ、まだまだ栄養士さんの役割が十分確立していないので、十分に活躍していないのが現状です。

個人的に薬局に行くということがないのでわかりませんが、薬を待っている間に栄養の相談にのってくれたり、個別に相談窓口があったりするそうです。病気になって薬を飲まなくてはいけなくなるのではなく、栄養を考えた生活をして病気にならないのが理想です。一人の地域住民として、うまく利用していきたいなあと思います。